

大型事業推進に暴走する荒井県政 それを支えるオール与党と正面から対決 暮らしに希望がもてる県政へと提案しています

日本共産党

① ムダ遣いときっぱり対決、住民の暮らし優先で提案

日本共産党県会議員団は、2022 年度奈良県予算の総額 5503 億円から無駄を削って、0.3%を暮らしを守る施策にと組み替え動議を提案しています。

荒井県知事は、開発推進で人を呼び込み、活性化させるという考え方。しかも、高級志向で地元業者よりも県外、海外からの誘致に熱心です。日本共産党は唯一の野党として、知事の政治姿勢と正面から対決し、提案しています。

県がこれからすすめる大型事業

- ①五條市に 2000 ㎡滑走路
- ②リニア奈良市付近駅から五條・和歌山経由で関空への高速列車
- ③平城宮跡国営公園整備。あらたな体験館の建設など
- ④近鉄奈良線の移設。平城宮跡内を通る線路を大宮通りへ移し、駅をあらたにつくる



予算の 0.3%で
これだけできる

日本共産党の予算組み替え提案

- 子ども医療費と福祉医療費を窓口無料に
- 大学生への給付型奨学金制度創設
- 後期高齢者医療保険料の負担軽減
- 国民健康保険の窓口負担軽減
- 介護保険利用料の負担軽減
- 学校給食に県産食材推進
- コロナで影響を受けた小規模事業者へ支援金を継続
- 商店街リニューアル事業の実施
- 住宅リフォーム助成制度の復活
- 教職員の増員で小学 4 年生まで 35 人学級に
- 高校生の遠距離通学に交通費助成



② コロナから命と暮らしをまもる

「まん延防止重点措置をしない」と、コロナ対策を軽視する知事に対して、17 回にわたる申し入れ・提案を行ってきました。

無料の PCR 検査が実現するなど成果をあげてきました。



2022 年 8 月 3 日、17 回目の申し入れ

③ 住民とともに願いを実現

大規模に森林を伐採し、災害の危険のある平群町のメガソーラー問題では、住民運動と力をあわせ、環境を守る条例が作られる運びとなりました。

党議員団が提案した「痴漢被害への対策求める意見書」は全会一致で可決。「生理の貧困」問題を取りあげるなど、力をつくしています。

日本共産党がのびれば、県政が変わります